



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月5日

上場会社名 レシップホールディングス株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 7213 URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 眞  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 品川 典弘 TEL 058-324-3121  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,152	△2.9	△486	—	△475	—	△358	—
25年3月期第2四半期	5,308	7.1	△341	—	△347	—	△265	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △357百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △281百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△65.99	—
25年3月期第2四半期	△41.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	10,013	4,327	43.2	794.84
25年3月期	9,791	4,755	48.6	877.37

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,327百万円 25年3月期 4,755百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,100	12.0	380	△20.3	400	△24.0	230	△21.2	42.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	6,399,100株	25年3月期	6,399,100株
26年3月期2Q	954,810株	25年3月期	978,970株
26年3月期2Q	5,432,604株	25年3月期2Q	6,390,128株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導の経済対策や金融緩和を背景に、震災復興事業や公共投資が進んだほか、2020年の東京五輪決定等の明るいニュースが企業マインドの改善を促すなど、国内景気は本格的な回復が進んでおります。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、中期経営計画「+1=2015」（プラスワン2015）（2013年度～2015年度）の共通課題である「TMS事業をAFC事業と並ぶ二つ目の柱にする」「次世代機器・システムの商品企画と拡販」「海外パートナーシップの強化と戦略商品の創造」「国内外でのLED商品の拡販」「システム改善によるQCDの向上」に向けた取り組みに注力してまいりました。

こうした活動の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、主力の輸送機器事業は増収となりましたものの、S&D事業及び産業機器事業につきましては減収となり、売上高は51億52百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

また損益面につきましては、当期は4月よりスタートいたしました新中期経営計画「+1=2015」（プラスワン2015）の初年度という位置づけにあり、主に新製品開発や、海外事業の強化に向けた先行投資が増加しておりますことから、営業損失は4億86百万円（前年同期は3億41百万円の営業損失）、経常損失は4億75百万円（前年同期は3億47百万円の経常損失）、四半期純損失は3億58百万円（前年同期は2億65百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### (輸送機器事業)

当事業の売上高は、29億17百万円（前年同期比2.6%増）、営業損失は4億24百万円（前年同期は3億31百万円の営業損失）となりました。市場別の売上高はバス市場向け製品が20億45百万円（前年同期比5.6%増）、鉄道市場向け製品が4億43百万円（前年同期比17.2%減）、自動車市場向け製品が4億28百万円（前年同期比15.6%増）となりました。

バス市場向け製品につきましては、車載用液晶表示器OBCの拡販が進んだことや、東北地区BRT（バス・ラピッド・トランジット）案件の納入により増収となりました。鉄道市場向け製品につきましては、LED灯具は堅調に推移いたしましたものの蛍光灯の減少により減収となりました。自動車市場向け製品につきましては、LED灯具の拡販が進み、増収となりました。

損益面では、下期より納入開始となる国内外の新規案件に関わる先行費用が高かったことや、海外案件対応への体制強化により販売費及び一般管理費が増加したことから、減益となりました。

#### (S&D事業)

当事業の売上高は4億51百万円（前年同期比17.7%減）、営業損失は19百万円（前年同期は42百万円の営業損失）となりました。

売上面では、前期まで売上を伸ばしておりましたLED電源が、販売方針の変更によりターゲット市場を一般照明市場から当社の強みが活かせる特殊市場へシフトいたしましたため減収となりました。

一方、損益面は、LED電源の方針変更も奏功し、赤字幅を縮小いたしました。

#### (産業機器事業)

当事業の売上高は17億61百万円（前年同期比7.0%減）、営業損失は16百万円（前年同期は54百万円の営業利益）となりました。

売上面では、物販用ICカード読み取り端末やケーブルテレビ用無停電電源装置の納入は進みましたものの、プリント基板実装事業におきまして、産業機械用インバータ基板が中国FA市場の減速により減少いたしましたほか、携帯電話の基地局向け電源が震災復興需要の一巡のため減少したことにより、減収となりました。

損益面では、減収及び円安によるコスト高により、営業損失を計上することとなりました。

#### (その他)

当事業の売上高は22百万円、営業利益は2百万円となりました。事業の内容は、レシップホールディングス株式会社による不動産賃貸業であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は100億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億21百万円増加いたしました。流動資産は69億18百万円と7億9百万円減少いたしました。主な要因は、仕掛品が3億87百万円、原材料及び貯蔵品が2億50百万円それぞれ増加したものの、受取手形及び売掛金が16億40百万円減少したこと等によるものです。固定資産は30億94百万円と9億31百万円増加いたしました。主な要因は、無形固定資産が8億16百万円増加したこと等によるものです。

負債は56億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億50百万円増加いたしました。流動負債は50億82百万円と4億74百万円増加いたしました。主な要因は、短期借入金が5億35百万円増加したこと等によるものです。固定負債は6億3百万と1億75百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金が60百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億28百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.6%から43.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期予想につきましては、平成25年5月10日の決算短信で発表しました業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	704,026	519,274
受取手形及び売掛金	4,760,412	3,120,166
商品及び製品	411,047	570,006
仕掛品	424,525	811,590
原材料及び貯蔵品	610,843	861,801
その他	766,280	1,092,270
貸倒引当金	△48,805	△56,431
流動資産合計	7,628,331	6,918,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,050,168	1,019,858
その他(純額)	353,405	509,454
有形固定資産合計	1,403,574	1,529,313
無形固定資産		
のれん	—	754,482
その他	176,966	238,643
無形固定資産合計	176,966	993,126
投資その他の資産		
投資有価証券	313,500	311,063
その他	326,146	318,159
貸倒引当金	△57,150	△57,050
投資その他の資産合計	582,496	572,172
固定資産合計	2,163,036	3,094,612
資産合計	9,791,368	10,013,290
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,183,220	2,118,304
短期借入金	750,000	1,285,000
1年内返済予定の長期借入金	226,135	128,116
未払法人税等	86,252	18,380
賞与引当金	316,047	254,742
役員賞与引当金	22,369	—
製品保証引当金	58,714	60,252
その他	965,153	1,217,859
流動負債合計	4,607,892	5,082,654
固定負債		
長期借入金	155,800	216,200
退職給付引当金	17,000	18,645
株式付与引当金	—	12,066
その他	255,204	356,399
固定負債合計	428,004	603,310
負債合計	5,035,896	5,685,964

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	735,645	735,645
資本剰余金	719,406	735,735
利益剰余金	4,039,465	3,591,512
自己株式	△771,792	△769,255
株主資本合計	4,722,724	4,293,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,084	51,164
為替換算調整勘定	△15,336	△17,475
その他の包括利益累計額合計	32,747	33,689
純資産合計	4,755,471	4,327,325
負債純資産合計	9,791,368	10,013,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,308,400	5,152,071
売上原価	4,353,277	4,188,546
売上総利益	955,123	963,525
販売費及び一般管理費	1,296,538	1,449,809
営業損失(△)	△341,415	△486,284
営業外収益		
受取利息	34	14
受取配当金	2,784	2,108
為替差益	—	5,437
作業くず売却益	5,026	2,961
その他	4,930	4,268
営業外収益合計	12,776	14,791
営業外費用		
支払利息	4,101	3,263
債権売却損	409	328
為替差損	7,979	—
投資損失引当金繰入額	5,577	—
その他	412	489
営業外費用合計	18,481	4,081
経常損失(△)	△347,120	△475,574
特別利益		
固定資産売却益	—	298
特別利益合計	—	298
特別損失		
固定資産売却損	987	148
固定資産廃棄損	—	544
投資有価証券評価損	973	—
投資有価証券売却損	—	3,350
特別損失合計	1,960	4,042
税金等調整前四半期純損失(△)	△349,080	△479,318
法人税、住民税及び事業税	14,448	11,529
法人税等調整額	△98,419	△132,356
法人税等合計	△83,971	△120,827
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△265,109	△358,491
四半期純損失(△)	△265,109	△358,491

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△265,109	△358,491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,226	3,080
為替換算調整勘定	△1,894	△2,138
その他の包括利益合計	△16,121	941
四半期包括利益	△281,231	△357,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△281,231	△357,549
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△349,080	△479,318
減価償却費	111,053	138,286
貸倒引当金の増減額(△は減少)	31,839	7,526
賞与引当金の増減額(△は減少)	△61,796	△61,305
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,882	△22,369
製品保証引当金の増減額(△は減少)	2,507	1,537
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,560	1,645
投資損失引当金の増減額(△は減少)	5,577	—
受取利息及び受取配当金	△2,819	△2,123
支払利息	4,101	3,263
固定資産売却損益(△は益)	—	△150
固定資産廃棄損	987	544
投資有価証券売却損益(△は益)	—	3,350
投資有価証券評価損益(△は益)	973	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,750,061	1,676,964
たな卸資産の増減額(△は増加)	△224,271	△782,149
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,132,661	△101,134
信託受益権の増減額(△は増加)	84,008	43,476
未払金の増減額(△は減少)	△153,713	△127,339
前受金の増減額(△は減少)	61,395	280,192
未払消費税等の増減額(△は減少)	△33,429	△65,682
その他	△4,668	△196,754
小計	72,742	318,457
利息及び配当金の受取額	2,627	2,352
利息の支払額	△5,782	△5,121
法人税等の支払額	△71,929	△142,870
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,342	172,817
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△34,244	△110,835
有形固定資産の売却による収入	—	920
無形固定資産の取得による支出	△9,593	△83,005
投資有価証券の取得による支出	△2,676	△2,788
投資有価証券の売却による収入	—	6,600
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△578,750
その他	△850	3,620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,366	△764,238
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,000	535,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△354,114	△137,619
自己株式の取得による支出	△47	△166,393
自己株式の売却による収入	—	185,258
配当金の支払額	△95,414	△89,510
その他	△14,290	△20,827
財務活動によるキャッシュ・フロー	△443,866	405,907
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,289	760
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△495,864	△184,752
現金及び現金同等物の期首残高	954,952	649,026
現金及び現金同等物の四半期末残高	459,087	464,274

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円)	合計 (千円)
	輸送機器事業 (千円)	S & D 事業 (千円)	産業機器事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	2,844,223	548,308	1,893,508	5,286,040	22,360	5,308,400
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,844,223	548,308	1,893,508	5,286,040	22,360	5,308,400
セグメント利益又は 損失(△)	△331,067	△42,070	54,050	△319,087	3,114	△315,973

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

損失	金額(千円)
報告セグメント計	△319,087
「その他」の区分の利益	3,114
全社費用(注)	△25,441
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△341,415

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円)	合計 (千円)
	輸送機器事業 (千円)	S & D 事業 (千円)	産業機器事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	2,917,550	451,059	1,761,101	5,129,711	22,360	5,152,071
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,917,550	451,059	1,761,101	5,129,711	22,360	5,152,071
セグメント利益又は 損失 (△)	△424,567	△19,923	△16,755	△461,246	2,170	△459,076

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

損失	金額 (千円)
報告セグメント計	△461,246
「その他」の区分の利益	2,170
全社費用 (注)	△27,207
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△486,284

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「輸送機器事業」セグメントにおいて、Arcontia International ABの子会社化に伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において754,482千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。